

# 道づくりだより

第70号 2013.12 島根県道づくり調整会議



祝！一般県道 浅利渡津線 渡津工区 江の川トンネル 貫通！！

## -Contents-

1. 一般県道浅利渡津線渡津工区江の川トンネルが貫通しました (道路建設課)
2. 仁摩・温泉津道路IC名称決定!! (高速道路推進課)
3. 寒い日は安全運転で! (道路維持課)
4. 出雲縁結び空港のターミナルパッド拡張工事が完了! (港湾空港課)
5. 幡屋農道の工事が始まります!! ~工事の着手にあたり安全祈願祭を開催~ (農地整備課)
6. 和江地区統合市場開設による漁獲物の集中化に対応!  
和江地区漁港関連道の新設区間 (漁港~県道間) が完成しました (漁港漁場整備課)

一般県道浅利渡津線渡津工区

江の川トンネルが貫通しました



一般県道浅利渡津線では、平成11年度より約5.0kmのバイパス整備を行っており、このうち、東側約2.3kmは浅利工区として平成18年度に完成し、残る西側2.7kmについても、渡津工区として平成17年度より整備を行ってきたところです。

このたび、平成24年より掘削を進めてきた渡津工区内の江の川トンネルが貫通を迎えたことから、11月16日に、県議会議員、江津市長、市議会議員、地元関係者、県・市関係者など約90名の出席のもと、貫通式が執り行われました。

○ 江の川トンネル概要 ○

延長 : 1,320m  
 位置 : 江津市松川町～江津市渡津町地内  
 幅員 : 10.75m  
 (車道3.5×2+歩道2.0+その他1.75)  
 工期 : 平成24年3月17日～平成27年3月31日

○ 渡津工区概要 ○

延長 : 2,740m  
 幅員 : 11.00m  
 (車道3.5×2+歩道2.5+その他1.5)  
 工期 : 平成17年度～平成20年代後半



# 仁摩・温泉津道路 IC 名称決定！！

今年度の部分開通、来年度の全線開通を目指して事業が進められている仁摩・温泉津道路のインターチェンジ名称が決定しました。

今回決定したインターチェンジ名称では、「仁摩IC」が「仁摩・石見銀山IC」に、「福光IC」が「石見福光IC」となりました。

湯里IC～石見福光IC間（延長L＝5.9 km）は本年度、仁摩・石見銀山IC～湯里IC間（延長L＝5.9 km）は来年度開通予定です。

| これまで使用していた仮称       | 決定した名称                        |
|--------------------|-------------------------------|
| にま<br>仁摩インターチェンジ   | にま いわみぎんざん<br>仁摩・石見銀山インターチェンジ |
| ゆさと<br>湯里インターチェンジ  | ゆさと<br>湯里インターチェンジ             |
| ゆのつ<br>温泉津インターチェンジ | ゆのつ<br>温泉津インターチェンジ            |
| ふくみつ<br>福光インターチェンジ | いわみふくみつ<br>石見福光インターチェンジ       |



# 寒い日は安全運転で!



## ●冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行

渋滞の原因となるスタック（スリップによる走行不能）車両の約7割は冬用タイヤ未装着が原因という調査結果が出ています。

タイヤチェーンの装着は、道路沿いにあるチェーン着脱場や待避所など通行に支障のない安全な場所で行ってください。



## ●お出かけ前の道路状況の確認

お出かけ前には島根県のホームページで、道路の交通規制や目的地までの道路状況をご確認ください。

### ◇島根県道路情報道路Twitter◇



公式アカウント@road\_shimaneをフォローすると県管理道路の全面通行止めや注意喚起情報をリアルタイムで取得できます。



### こんなことをつぶやきます。

- 全面通行止め情報  
【道路規制情報】1月10日6時30分より、県道〇〇線〇〇市〇〇町〇〇地内においてなだれにより全面通行止めとなりました。迂回路は市道〇〇線～県道〇〇線です。
- 注意喚起情報  
【道路情報】1月23日7時30分現在、国道〇〇号は〇〇市から〇〇市〇〇町にかけて積雪圧雪しています。〇〇峠付近の気温は-4℃。スリップに注意下さい。
- 道路イベント情報  
【道路情報】3月16日（日）〇〇町で「第22回〇〇のSL健康マラソン」が開催されます。県道〇〇線で交通規制がありますのでご注意ください。

### ◇島根県道路カメラ情報◇

道路の積雪状況をカメラ映像でチェックできます。



島根冬期 検索

国や隣接県の道路情報にもリンクしています。

「島根県道路カメラ情報」はこちらから →<http://www3.pref.shimane.jp/road/>

旧「島根県道路情報」の表示エラーについてはこちら  
→[http://www.pref.shimane.lg.jp/doroi/ji/roadcamerainfo/roadcamera\\_info.html](http://www.pref.shimane.lg.jp/doroi/ji/roadcamerainfo/roadcamera_info.html)



出雲縁結び空港の

# ターニングパッド拡張工事が完了！

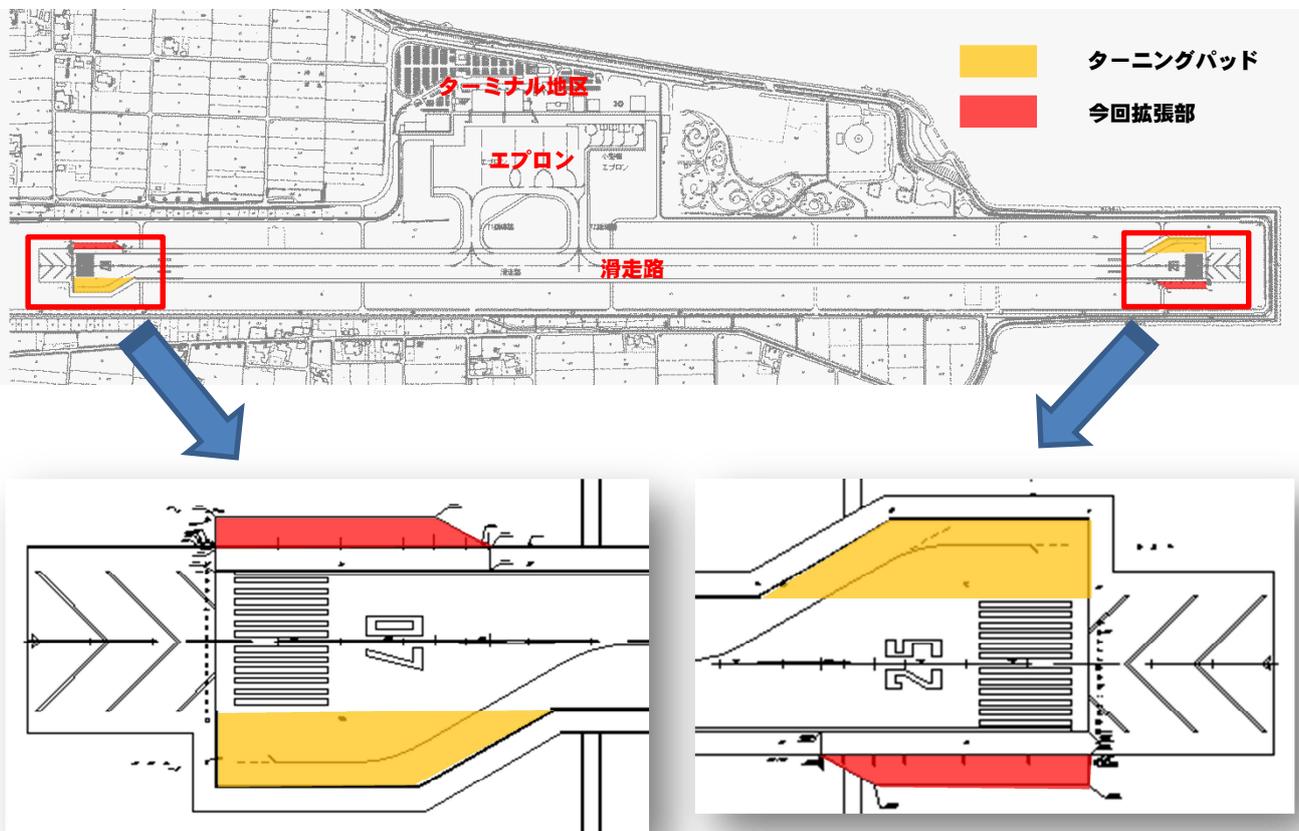
出雲縁結び空港に就航する定期便の最大機材が、A300型機からホイールベースの長いB767型機に一昨年から変更になりました。それに伴い、冬季における航空機の安全性確保のため、ターニングパッドの拡張工事を行っていましたが、この度完成いたしました。

## ターニングパッドとは・・・

航空機が滑走路上で方向転換(Uターン)を行うために滑走路の幅が広がっている場所で、主に滑走路の両端に設けられています。

離陸時であれば離陸する方向と逆方向へ滑走路を走行し、ターニングパッドでUターンし離陸体制に入ります。着陸時であれば着陸後、滑走路末端まで走行・減速し、ターニングパッドでUターンしエプロン(駐機場)まで向かいます。

出雲空港平面図



## 工事状況

ターニングパッド拡張工事はほとんどが夜間工事でしたが、空港周辺に家屋が近接していることから、以下の対策を実施しました。

### 1) 騒音対策

工事区域に防音パネルを設置し、騒音の低減をはかりました。

### 2) 光源対策

投光器の明かりが民家へ直接行かないように、民家側をマスキングしました。



## 完成！！

(写真は西側のターニングパッドです)



### 【事業概要】(両側合計)

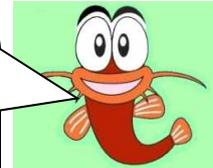
工事区間延長: 180m 拡張幅員: 10m

アスファルト舗装: 2,884 m<sup>2</sup> 埋込型滑走路灯: 2 灯

はたや  
**幡屋農道の工事が始まります!!**  
～工事の着手にあたり安全祈願祭を開催～

幡屋農道は、雲南市加茂町砂子原地内の砂子原農道と大東町仁和寺地内の市道穴道線を結ぶ延長約2.2kmの農道で、農産物輸送の効率化などを目的に平成23年度から事業に着手しています。

これまでは設計や測量、用地買収を行っていましたが、この度、工事の着手にあたり起工式及び安全祈願祭が行われ工事期間中の無事を祈りました。



『しまねの農業農村整備  
すごろく』キャラクター  
ドジョウのどうじょ君

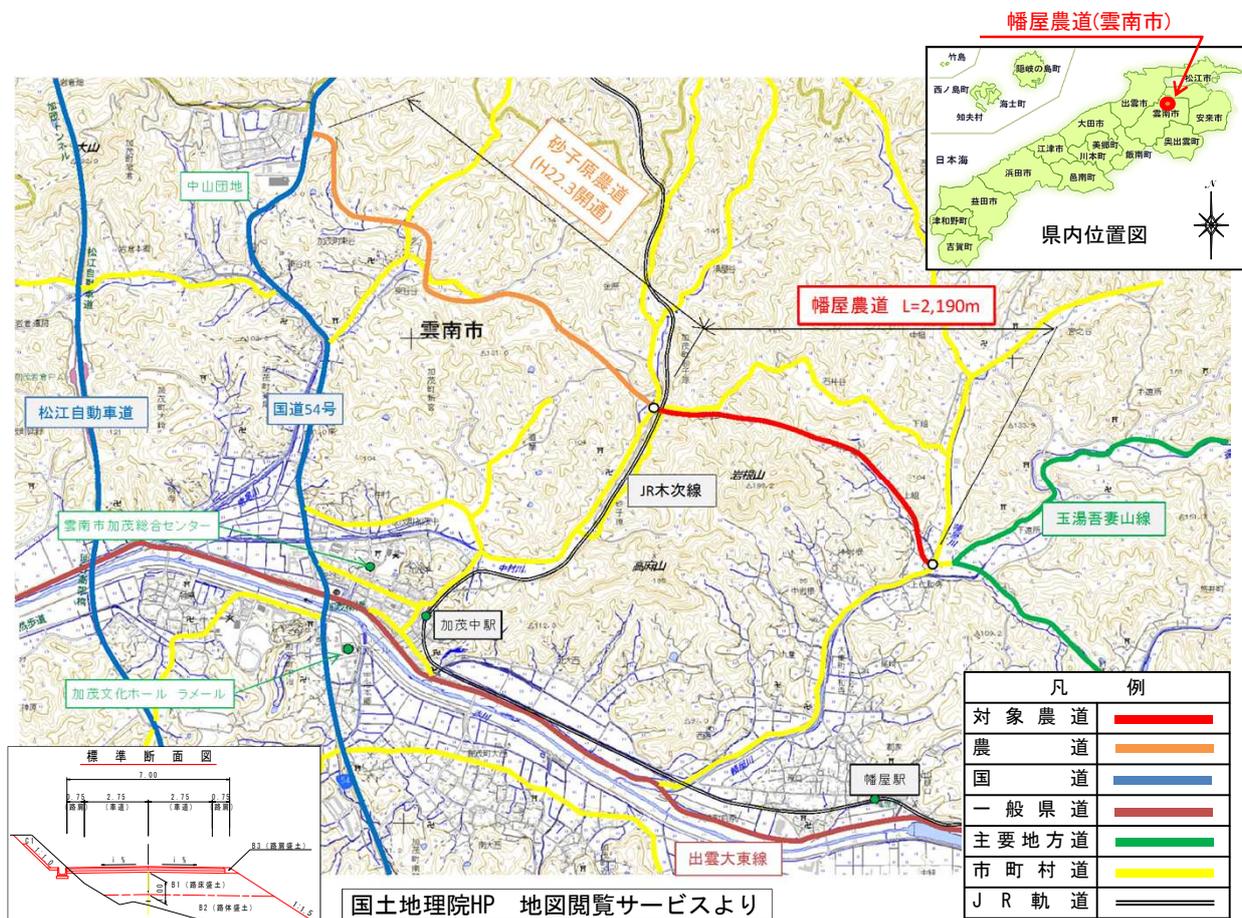
**事業の概要**

本地域は、雲南市北部に位置し水稻を中心とした農業地帯で、茶や大豆の栽培も盛んに行われています。しかし、育苗及び堆肥施設からの資材搬入や農地等からカントリーエレベーターへの搬出に使用する現況の道路は、幅員が約3.5mと狭いため大型車両の導入による農産物輸送の効率化が図れていませんでした。

このため、加茂町内の国道54号に接続し平成22年に全線開通した砂子原農道と、大東町仁和寺地内の市道穴道線を結ぶ延長約2.2kmの農道を整備することで、一体的な農道網を形成し、カントリーエレベーター等の農業施設へのアクセス性を向上させ、農産物輸送に係る時間の短縮や車両の大型化による輸送の効率化を図ります。

また、国道54号等の幹線道路へのアクセス性が向上することで、農道周辺地域の生活環境の改善や地域間交流の拡大による地域の活性化にも期待されます。

**幡屋農道位置図**



## 起工式・安全祈願祭の様子

平成25年11月28日に幡屋交流センターにおいて、幡屋砂子原間農道整備促進委員会の主催による起工式及び安全祈願祭が、地元関係者、市長、県・市議会議員、施工業者ほか総勢56名が参加し盛大に行われました。

式では、本農道の整備により幡屋地域(大東町)と砂子原地域(加茂町)が一体となり、農業をはじめ地域がさらに発展していくことに期待する思いのこもった祝辞の後、清めの神事が執り行われ工事の安全を祈願しました。

起工式



安全祈願祭



## 事業概要

事業名：農山漁村地域整備交付金  
農地整備事業(通作条件整備) 基幹農道整備 一般型

地区名：幡屋地区

工期：平成23年度～平成28年度(予定)

延長：L=2,190m

幅員：全幅員7.0m、車道幅員5.5m

主要構造物：橋梁1橋(L=100m)



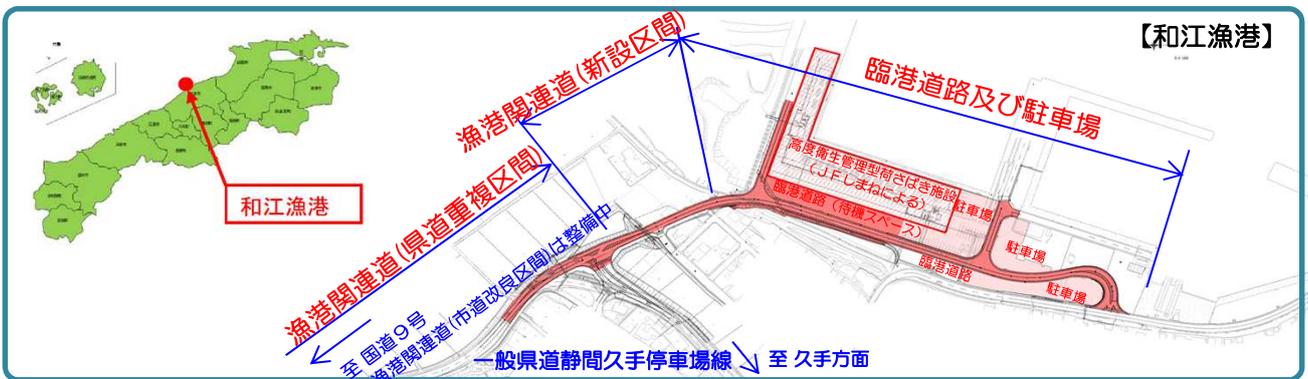
橋梁完成予想図(雲南市加茂町地内)

和江地区統合市場開設による漁獲物の集中化に対応！  
和江地区漁港関連道の新設区間(漁港～県道間)が完成しました。

和江漁港は、島根県大田市の静間川河口東側に位置する第2種漁港で、小型底びき網漁業等を主とする県下有数の漁業基地です。これまで大田市内の4箇所（久手、和江、五十猛、仁摩）にあった産地市場をこの和江漁港に統合することになり、JFしまねにより高度衛生管理型荷さばき施設が整備され、平成25年9月から供用が開始されました。

この統合市場の開設に伴い、漁獲物が和江に集中することとなるため、水産関係車両の増加に対応すべく漁港内の臨港道路・駐車場の整備に加え、漁港から国道9号に至る漁港関連道を計画し、平成24年度に着手しました。このうち、漁港から一般県道静間久手停車場線に至る新設区間の漁港関連道が完成しました。

この和江漁港関連道については、引き続き県道から国道9号に至る区間の整備を進め、家屋連たん地内の県道を通る現在のルートから早期の転換を行い、安全で効率的な漁獲物流通体制の確保を図ります。



- 事業の内容
- 和江漁港臨港道路 L=662m、W=5.5(7.0)m、駐車場A=7,110m<sup>2</sup> 平成25年9月供用開始
  - 和江地区漁港関連道路 総延長L=1,520m、W=5.5(9.25m) (一部県道重複区間有)
  - 漁港～県道間(新設区間) L=約200m 平成25年9月供用開始
  - 県道～国道9号間 L=約1,100m、橋梁1基(L=106m)他

